

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PCテクニック		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	PCテクニック	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ライブハウスコース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用					
授業概要						
Excel・Word・PowerPointといったマイクロソフト系ツールや、GoogleWorkSpaceの各種アプリケーションの入門～基礎操作、活用方法をオンデマンド授業で学ぶ						
到達目標						
授業内でのPC作業や、社会人になってから応用できるPCテクニックを身につける						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	PCテクニック～Word編～					
【前期】 9～13回目	PCテクニック～Excel編～					
【前期】 14～19回目	PCテクニック～Google編～					
【後期】 20～24回目	PCテクニック～Google編～					
【後期】 25～27回目	PCテクニック～Google スプレッドシート編～					
【後期】 28～33回目	PCテクニック～PowerPoint編～					
【後期】 34～37回目	PCテクニック～Google スライド編～					
【後期】 38回目	PCテクニック～ Web会議ツール編～					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	キャリア講座Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	キャリア講座Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース/企画制作コース/アーティストスタッフコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	国際線客室乗務員・国内線客室乗務員として乗務。退職後はブライダル業界でマリッジコンサルタントとしての経験を積む。現在はチーフマネーインストラクターを務め、医療機関や介護・福祉施設、幼稚園・保育園、アパレル関連、IT関連企業など、幅広く研修を担当。グローバルマナーズスクールでも多くの講座を担当し、教材作成にも携わる。					
授業概要						
・講義と実践ワーク、更にロールプレイングを通して、ビジネスマナーを体得する。 ・授業ごとに、言葉遣いの確認、小テストを実施し、習得度を確認。 ・応募先にむけた自己PR、志望動機作成、面接対応実施。履歴書・ES作成指導。						
到達目標						
・基礎的なビジネスマナーについて、[知っている]から[できる]さらに[いつもできている]を目指す。 ・信頼感を伝えるために、「スキル」と「人格」の両輪を育てる。 ・自己理解を深め、アピールできる自分の強みを知り、将来のキャリアが描けるようになる。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	オリエンテーション/基本動作の確認/プレゼンテーションスキル向上					
【前期】 6～10回目	面接対応/自己理解① 興味と価値観/自己理解② 強み分析/企業で働くとは					
【前期】 11～15回目	コミュニケーションの応用/説明力向上/業界研究と志望動機					
【前期】 16～19回目	キャリア理論① クランボルツ/キャリア理論② ジェラット/トラブル対応力/就職活動シュミレーション					
【後期】 20～24回目	芸能業界で生き抜くためのキャリアビジョン/ビジネス文書の作成法					
【後期】 25～29回目	社内業務（指示の受け方/報告連絡相談)/社内業務（仕事の目的を考える)					
【後期】 30～34回目	会話術アップ/ロールプレイング					
【後期】 35～36回目	食事のマナー/メンタルヘルス					
【後期】 35～38回目	一年間のまとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	教科書を毎週持参の上、受講のこと。教室内は飲食不可。配布プリントの取扱いに注意してください。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	音楽スタッフ総合実地演習Ⅱ		授業形態 / 必・選	演習	必修	
	学則上表記	音楽スタッフ総合実地演習Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	4回(20単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。					
授業概要						
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。						
到達目標						
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。						
授業計画・内容						
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント					
2回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修					
3回目	外部企業見学					
4～5回目	ゲスト講師による音楽・エンタメ業界スタッフ授業					
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	マーチャンダイジング論		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	マーチャンダイジング論	年次	1・2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	19回(38単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース/音楽スタッフ総合コース/企画制作コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)にて音楽活動を開始。井上陽水の前座などを務める。音楽活動終了後はTV番組制作会社に就職しアニメーション演出担当で数多くの作品に携わり、その後音楽出版社・レコード会社にて著作権管理や原盤制作ディレクターの業務やライブイベント制作を行う。					
授業概要						
顧客に対してどのような関係性で、価値を創造し・伝え・届けるかを学び、お金の動きを学ぶ。						
到達目標						
エンタテインメント業界のビジネスの仕組みを理解し、顧客に対してどのような価値を与えるか?時代の価値に対応した考えを身につけることで、今後の音楽芸能業界に新しいエンタテインメントビジネスを生み出せる人材の育成						
授業計画・内容						
【後期】 1～2回目	エンタテインメントビジネスの仕組み マーケティングと消費者行動論					
【後期】 3～4回目	エンタテインメントビジネスにおけるマーチャンダイジングの歴史					
【後期】 5～6回目	マーチャンダイジングとは:ISM(インストア・マーチャンダイジング) マーチャンダイジングとは:VMP(ビジュアル・マーチャンダイジング)					
【後期】 7～8回目	VMP:IP(アイテム)／PP(ポイント)／VP(ビジュアル)					
【後期】 9～10回目	商品企画:対象顧客の重要性 商品企画:価値の創造と伝達					
【後期】 11～12回目	商品企画:商品構成と品揃え 商品企画:プライスゾーンとプライスライン					
【後期】 13～14回目	マーチャンダイジング実践:ライブイベントについて					
【後期】 15～17回目	マーチャンダイジング実践:CD販売について					
【後期】 18～19回目	マーチャンダイジング実践:配信について					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	随時プリント資料配布					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ライティング講座		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	ライティング講座	年次	1・2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	アーティストスタッフコース/音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	音楽雑誌『CROSSBEAT』編集者を経て、2002年よりフリーランス。ライターとしてもこれまでに数多のインタビューを行なっている他、2002年よりフジロック・フェスティバルのオフィシャル・パンフ編集長。ライター、ラジオパーソナリティ、放送作家としても活動中。					
授業概要						
依頼文や手紙などの実用文章、レポート文、SNS、小論文など様々な文章の形態について学び、社会人としてのスキルを身につける。						
到達目標						
音楽業界で仕事をする上で必要な文章力を身につける。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	文章の種類：仕事で求められる文章の種類、特徴について解説 語彙を増やす：適切な言葉を選ぶようになるためのポイント					
【前期】 6～10回目	語彙を増やす：対義語・類義語のおさらい 語彙を増やす：感情表現のバリエーションを考える					
【前期】 11～15回目	思考訓練：物事を様々な方面から見る練習 思考訓練：名称から実態を想像する／ものに名前を付けてみる					
【前期】 16～19回目	体験したことを文章にする：自分の身に起こったことを文章で説明する 体験したことを文章にする：ライヴ・レビューの書き方					
【後期】 20～24回目	調査をして解説する：ニュースなどの詳細を調べて文章をまとめる練習 SNS時代の文章のまとめ方：メディアに合った文章					
【後期】 25～29回目	紙資料を作ってみよう：アーティストの魅力を伝える文章の書き方 紙資料を作ってみよう：互いの資料を読んで感想を伝え合う					
【後期】 30～34回目	論理的思考のための練習：原因と結果の考察 論理的思考のための練習：読み手を納得させる文章のポイント／言葉の再定義					
【後期】 35～38回目	実用的文章(メール)：要件がわかりやすいメールの書き方 実用的文章(手紙)：時候の挨拶を入れたフォーマルな手紙の書き方					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考	随時プリント資料配布					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ステージスタジオワーク		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	ステージスタジオワーク	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	19回(38単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ライブハウスにて音響チーフとしてハウスエンジニア、アシスタント教育を行う他、ライブハウスの施工にも携わった経験をもとに、現在はフリーランスPAとしてライブハウス等に勤務する。					
授業概要						
尺貫法や平台・箱馬の扱い方、楽器や周辺機材の知識・扱い方、各種セッティング等を学ぶ。						
到達目標						
マネージャーとして必要な各楽器の基本的なセッティング、メンテナンス方法、ステージ全体の構成等のノウハウの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	授業概要説明 ドラムについて：各名称とセッティング					
【前期】 6～10回目	ギター＆ベースアンプについて：運び方、つなぎ方、ツマミについて					
【前期】 11～15回目	舞台用語 Dr、Gt、Baセッティング：3ピースバンド想定、バミリについて・アクティングエリアについて					
【前期】 16～19回目	舞台用語、タイムテーブル、ステージプロットについてエフェクターについて プロット作成について・転換シミュレーションなど					
【後期】 20～24回目	ギター＆ベースアンプについて：アンプの種類・音色について					
【後期】 25～29回目	ギター・ベースについて：弦交換・チューニング アコースティックギターについて					
【後期】 30～34回目	ドラム：ミュート・チューニングについて キーボードについて					
【後期】 35～38回目	LEDビジョンの仕組み、構造について 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ProTools講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	ProTools講座	年次	1・2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース、ローディーコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	レコーディングスタジオで7年間アシスタントとして多くのことを学び、その後レコーディングエンジニアだけではなく、5000人規模のライブ録音や50人規模のライブPAなど音を操る場で幅広く活動。					
授業概要						
PC画面での音素材の加工や、ミックス作業を行う。						
到達目標						
Pro Toolsを使用したレコーディングに関するオペレーションスキルの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	DAW関連について(ProToolsについて/音の仕組み) ProToolsの基本(ProToolsについて(録音～ミックス～MAの流れ)ファイル構成)					
【前期】 6～10回目	ProToolsの基本的な操作 (リバーブ・ディレイの立ち上げ方/EDIT ツールの説明・作業・フェード作成)					
【前期】 11～15回目	ProToolsの基本的な操作 (リバーブ・ディレイの立ち上げ方/EDIT ツールの説明・作業・フェード作成)					
【前期】 16～19回目	ProToolsの基本的な操作 (オーディオ編集の操作方法/ヴォーカル編集_Reverb操作応用・リズム・タイミング) 前期試験					
【後期】 20～24回目	ProToolsの実践的な操作(EQ/コンプ/エフェクターについて/ミックスバランスについて/マキシマイザーについて(Sound Pressure Level))					
【後期】 25～29回目	ProToolsの実践的な操作(オートメーションについて/ライブミックス作業もしくはMA作業)					
【後期】 30～34回目	ProToolsの応用的な操作(バウンス方法について(Wav / mp3)/ミックス作業)					
【後期】 35～38回目	ProToolsの応用的な操作(ミックス作業) 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	サウンドアナライズ		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	サウンドアナライズ	年次	1・2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	舞台製作コース/PAコース/企画制作コース/音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	音楽ソフトの企画・制作からプロモーション、アーティストマネジメントに従事。その後、ヘアメイク、スタイリスト、カメラマン、デザイナーなどクリエイターのマネジメントに移行。現在も幅広く業務を行っている。					
授業概要						
さまざまな年代、ジャンルの音楽について知識を深める。音楽の歴史背景だけでなく楽曲そのものにも触れていく。						
到達目標						
スタッフとしてアーティストの要望に対応するため音楽ジャンルの幅を広げる。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	クラシック(古典派)、弦楽四重奏(Vln、Vla、Vc、Cb)／クラシック(ロマン派)、Apf ラグタイム、Resonator／ブルース(Guitar、Harmonica)					
【前期】 6～10回目	ジャズ(Tp、Sax、Tb、C.B、Hammond Organ、Leslie Speaker)／ビックバンドジャズ(Vib、Ondes Martenot) カントリーミュージック(Banjo、Steel Guitar、Resonator G)					
【前期】 11～15回目	R&B(Mandolin、Bandoneon、Auto Harp)／ゴスペル(String Bender、Wurlitzer、Clavinet)／ロックンロール					
【前期】 16～19回目	70年代歌謡曲(CP70)／80年代歌謡曲(DX-7) 前期試験					
【後期】 20～24回目	90年代歌謡曲(SEQ)／ロック(Mellotron、Moog、Theremin)／サーフィンロック グラムロック／プログレッシブロック／パンクロック					
【後期】 25～29回目	ハードロック(Mashall、Fender Twin、Ampeg)／フュージョン(Rhodes) ボサノヴァ／シャンソン／インディアンミュージック(Sitar、Electric Sitar)					
【後期】 30～34回目	レゲエ／ハワイアンミュージック(Ukulele)／ヘビーメタル(Twin BD) ジャパニーズ／メタル					
【後期】 35～38回目	ヴィジュアル系ロック／ジャパニーズ・ロック 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	音楽理論		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	音楽理論	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大学にてクラシックピアノを学んだ後、ピアニストとして活動を開始。クラシック・ポピュラーミュージック・ジャズ等、ジャンルにとらわれず様々なレコーディングやライブに携わり、海外での演奏も行うなど精力的に活動中。					
授業概要						
五線譜を用意し、自ら音符を書き込む。五線譜に書いた音符を手拍子等でリズムを表現する。						
到達目標						
音楽の構成を理論的に分析、把握する技術の修得。楽譜の読み書きが出来る。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	音に関する基礎知識 Notation・省略記号:楽譜に関する基礎知識/記譜法続き 音符、休符 etc./色々な音符の種類、連符、音符の省略					
【前期】 6～10回目	速度、強弱、奏法 etc.各記号について説明 省略記号、反復記号 etc. 各記号、Repeat mark、D.S. etc. 授業内容の復習:曲を聴いて拍子、小節数チェック etc.					
【前期】 11～15回目	Major scale: Ⅱ系 Major scale/ Ⅲ系 Major scale/全てのMajor scale の調号とKey etc./ Minor scale: Major scale との関係/全てのminor scale 復習/ すべてのscaleの練習問題と音程					
【前期】 16～19回目	音程について 前期試験					
【後期】 20～24回目	chord: Major / minor triad/Augmented / diminished triad/triadの復習/4和音/chordの転回					
【後期】 25～29回目	chordについて全体的な復習 Diatonic chord					
【後期】 30～34回目	minor Diatonic chord/Diatonic chord の代理 chord: 今迄の復習、曲中でのchord etc.					
【後期】 35～38回目	Substitute chord: 学生の様子、希望により授業内容決定 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	照明概論		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	照明概論	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	演劇界、ダンス界で数えきれない程の現場を経験。後進の指導経験も豊富に持つ。					
授業概要						
必要な基礎知識を学ぶ。						
到達目標						
さまざまな会場・ホール・施設で照明業務を行う為の基礎知識の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～2回目	三原色と色温度：身近にあるもので本来の三原色と色温度の意味を知る 舞台美術幕についてとホール機構：照明と密接に関係する美術幕名称と用途またホール機構の説明					
【前期】 3～5回目	照明に関わる備品や工具：野外イントレや作業で使用する工具備品の説明 舞台一般照明基礎：PowerPointによる照明配置とスポットの特性基礎					
【前期】 6～8回目	一般照明の回路の取り方と考え方：ホール回路の配置でかわる色々な取り方と回路計算 SFの照射円の法則と仕込み図の書き方：テンプレートの説明および口頭での打ち合わせ変更になれる。					
【前期】 9～10回目	仕込み図の書き方：基本仕込み図の書き方及び名称の説明 LED MVなどの信号線のスポットと一般照明との違い：フィクスチャーライブラリーDMなどの用語					
【後期】 11～13回目	稽古見及び進行表Cue出しの仕方：音源及びCue割り出し方Dance照明から進行表をつくる 絵画から見る舞台照明：絵画からどんな明りか想像するとともにセットが入った時の照明を考える					
【後期】 14～16回目	養生と介錯 安全性について：作業安全について改めて説明と試験についてのインターバル 芝居の台本Cueの入れ方など：芝居の台本の読み取り方などCueの入れ方考え方を学					
【後期】 17回目	クラシックバレエフラメンコJazzなど特殊ダンスの用語や説明 Danceに対してそれぞれしきたりや特殊用語があることの説明					
【後期】 18～19回目	照明概論の総復習 前期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	映像メディア研究		授業形態 / 必・選	講義	選択
	学則上表記	映像メディア研究		年次	2年次
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数 10単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	映像制作、編集、映像オペレーターやVJなど、映像のオールラウンダー。最近では舞台映像や簡単なマッピングも制作。自身がVJとして所属するバンドでは企画から編集までオールセルフプロデュースのMVも制作。				
授業概要					
ミュージック・ビデオ、映画、CM、ドラマ、バラエティーなど様々な映像メディアを研究し、優れた作品、人をひきつける作品とはどういうものであるかを研究する授業。					
到達目標					
数多くの作品を見、解析することで審美眼を養うと共に、なぜその作品が良いのかを伝えられるようになる。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	映像研究について/映像視聴、ディスカッション/カメラについて(焦点距離・被写界深度)				
【前期】 6～10回目	メディア研究①概論:どのようなメディアがあるのか考えさせ、今後の研究対象を洗い出す。				
【前期】 11～15回目	メディア研究②MV、ライブビデオ				
【前期】 16～19回目	メディア研究③映画 前期試験				
【後期】 20～24回目	メディア研究④CM ⑤ドラマ				
【後期】 25～29回目	メディア研究⑥バラエティー				
【後期】 30～34回目	メディア研究⑦ネット動画				
【後期】 35～38回目	2025年、私的アワード選定～発表 後期試験				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	プロダクション実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	プロダクション実習		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	114回(228単位時間)	年間単位数	7単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	音楽ソフトの企画・制作からプロモーション、アーティストマネジメントに従事。その後、ヘアメイク、スタイリスト、カメラマン、デザイナーなどクリエイターのマネジメントに移行。現在も幅広く業務を行っている。					
授業概要						
アーティストの協力の元、ライブ制作、CD制作、ミュージックビデオ制作、プロモーションなど、プロダクションやレコード会社で行う一連の流れを学ぶ。						
到達目標						
プロダクションにおける業務の理解。						
授業計画・内容						
【前期】 1～12回目	年間実習予定について グランドスケジュールの作成”					
【前期】 13～24回目	ホームページ制作に関する会議 宣伝ツールとしてのSNS立ち上げ					
【前期】 25～39回目	アーティストとの選曲会議 プリプロダクション立会い					
【前期】 40～59回目	9月企画ライブに向けての7月対策ライブ実習 本番レコーディング～ミックスダウン～マスタリング立会い					
【前期】 60～84回目	9月企画ライブの企画立案～準備～本番実施 アーティスト写真撮影(コンセプト立案～ロケハン～撮影準備～本番撮影) CDジャケット制作(準備～撮影～デザイン～入稿					
【後期】 85～104回目	ミュージックビデオ制作(コンセプト立案～照明・映像専攻コースとの打ち合わせ～撮影～試写・修正依頼) 宣伝資料準備”					
【後期】 105～123回目	宣伝プランニング立案とアタックリストの作成～メディア・アプローチ CDショッププロモーション					
【後期】 124～143回目	12月企画ライブの立案～準備～本番実施口					
【後期】 144～168回目	2月CD発売記念ライブの企画立案～準備～本番実施					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	プロダクションデザイン実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	プロダクションデザイン実習	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ロゴ・ポスター・CDジャケット・マーチャンダイズ等、様々な広告デザイナーとしての業務に従事。一方、フォトグラファーとしての活動も行い、二刀流のクリエイターとして活動中。					
授業概要						
フライヤー制作や、グッズ制作などにファンクラブ運営に役立つデザイン知識を学ぶと共に、見積の取り方や、入稿作業等についての知識・ノウハウの習得する。						
プロダクションスタッフとしてのデザインやビジネススキルの修得。						
【前期】 1～5回目	授業の進め方、評価基準、必要なソフトの説明 デザインの基礎(レイアウトとタイポグラフィ)、ツールの基礎(各種アプリの説明)					
【前期】 6～10回目	プロダクション実習にて決定した企画・ライブに向けたデザイン制作 (フライヤー制作・アーティスト写真・Webページ等)					
【前期】 11～15回目	プロダクション実習にて決定した企画・ライブに向けたデザイン制作 (ライブ用バックドロップ、SNS用動画・写真等)					
【前期】 16～19回目	プロダクション実習にて決定した企画・ライブに向けたデザイン制作 (CDジャケット、販促物、ノベルティ等) 前期試験					
【後期】 20～24回目	プロダクション実習にて決定した企画・ライブに向けたデザイン制作 (CDジャケットの企画～ジャケットデザイン撮影～デザイン等)					
【後期】 25～29回目	プロダクション実習にて決定した企画・ライブに向けたデザイン制作 (アーティストグッズ制作企画 ・見積 ・デザイン ・発注 ・納品確認等)					
【後期】 30～34回目	プロダクション実習にて決定した企画・ライブに向けたデザイン制作 (CDリリース販促物制作立案 ・取材 ・誌面制作 ・入稿 ・入稿確認等)					
【後期】 35～38回目	就職・フリーランスについてのキャリアアドバイス 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	メディア制作実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	メディア制作実習	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	イベント総合プロデュース会社で映像制作を中心とした業務に関わる。一方で個人でも映像制作を請け負い、ミュージックビデオをはじめ、幅広いジャンルのコンテンツを手掛ける。					
授業概要						
映像を中心としたアーティストのコンテンツを企画・制作すると共に、マーケティング手法について学習する。						
到達目標						
アーティストのプロモーション等につながる企画力の向上、またそれらを世の中に広めるノウハウの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	授業説明、フォルダ管理、議事録、目標などルール説明 マーケティング基礎：SNSを利用したマーケティングについて/実際のアーティストで分析してみる					
【前期】 6～10回目	マーケティング基礎：動画制作(動画デザインについて/仮想イベント宣伝動画(39秒)作成)					
【前期】 11～15回目	6月実施イベントを基にライブ告知動画の作成～youtube設定練習/youtubeの運用方法を学ぶ プロダクション実習にて決定した企画・ライブに向けたプロモーション動画の企画～作成					
【前期】 16～19回目	音楽芸能スタッフ科合同イベントを基に告知動画作成/学園祭告知動画作成 前期試験					
【後期】 20～24回目	プロダクション実習にて決定した企画・ライブに向けたプロモーション動画の企画～作成					
【後期】 25～29回目	プロダクション実習にて決定したリリース告知動画作成・レコ発ライブ告知動画の企画～作成					
【後期】 30～34回目	プロダクション実習のアーティスト宣伝動画の企画～作成					
【後期】 35～38回目	データ整理 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PA実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	PA実習	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ライブハウスからドームクラスまで、様々な規模のPAオペレーターを経験。自身の会社も立ち上げ、後進の指導などマルチな活動を行っている。					
授業概要						
ライブホールの機材を使い、セッティング、チェック、スピーカーチューニング、PAオペレーターなどの作業を学ぶ。						
到達目標						
仕込みから本番までのPAIに関するオペレーターのノウハウの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	PA概論機材搬入出の方法マイクスタンドの取り扱い					
【前期】 6～10回目	音響機器の説明①・音について ・音声信号の流れについて・電源のON/OFF					
【前期】 11～15回目	音響機器の説明②・アンプ、スピーカーの説明、つなぎ方 ・アナログミキサーの説明					
【前期】 16～19回目	基本的な音響仕込み:マイク～スピーカーまでの仕込みステージマンとして:仕込み図からの仕込み 前期試験k					
【後期】 20～24回目	授業内ライブ① 仕込み図作成 ・叩きの練習 ・リヴァーブについて ・仕込みから本番、バラシまで					
【後期】 25～29回目	授業内ライブ② マイク/DIの聴き比べ～選定 ・プリプロ ・仕込みから本番、バラシまで					
【後期】 30～34回目	授業内ライブ③ 音源の確認と仕込み図の作成 ・作成した仕込み図に沿っての仕込み～本番					
【後期】 35～38回目	総括 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ステージスタジオワーク		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	ステージスタジオワーク	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ライブハウスにて音響チーフとしてハウスエンジニア、アシスタント教育を行う他、ライブハウスの施工にも携わった経験をもとに、現在はフリーランスPAとしてライブハウス等に勤務する。				
授業概要					
尺貫法や平台・箱馬の扱い方、楽器や周辺機材の知識・扱い方、各種セッティング等を学ぶ。					
到達目標					
コンサートスタッフとして必要な各楽器の基本的なセッティング、メンテナンス方法、ステージ全体の構成等のノウハウの習得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	授業概要について ドラム:太鼓・シンパルの種類・名称について、スタンドの組み立てとセット組み実践				
【前期】 6～10回目	ギター/アンプ:ギタースタンドの立て方、ギターの種類、ギターパーツについて、アンプについて、ワイヤレスについて エフェクター/楽器実技:ギター・ベース・ドラムのセッティング				
【前期】 11～15回目	ステージ:舞台用語・タイムテーブル、ジェスチャーについて、ステージプロット ステージ転換について、機材溜め場について、転換シミュレーション、アクティングエリアについて				
【前期】 16～19回目	キーボード:スタンド・繋ぎ方・運び方など 前期試験				
【後期】 20～24回目	ドラム:チューニング・ミュート・ヘッドの張り方 楽器実技:ギター・ベース・ドラム・キーボード				
【後期】 25～29回目	ギター・ベース:弦交換・チューニング、調整について				
【後期】 30～34回目	アンプ/エフェクター:アンプを繋いで音を出す(音作り)、エフェクターについて(種類・繋ぎ順)				
【後期】 35～38回目	全体の復習 後期試験				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	レコーディング実習		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	レコーディング実習	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディングエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。					
授業概要						
実際にアーティストのレコーディング～MIX～マスタリングまでの工程を学ぶ。						
到達目標						
レコーディング現場に於ける音響技術の習得						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	Band RECのセッティング～回線チェック～マイクセット～サウンドチェック。・PTのセッション作り、CLICK作り。パンチイン、パンチアウトの練習(クラブをダビングしてみる)・バンド用に種類を増やしてマイクの説明 Band RECのセッティング。・クイックパンチ、プレイリスト					
【前期】 6～10回目	さまざまなマイクの音、セッティングを学ぶ マイク、セッティングをいろいろ変えてProtoolsに録って聴き比べ～自分なりのデフォルトが作ることを目標に					
【前期】 11～15回目	本館2F Studioのシステムを憶える。機材の名称、用途、操作方法を学ぶ。 電源のON/OFF・機材(SSL卓,Avid PRE,Comp etc)・信号の流れ・Gtのマイクセッティング・Protools内ミックス・CueBoxへの送り					
【前期】 16～19回目	バンドレコーディング実習①:プリプロ～Basic～ダビング 前期試験					
【後期】 20～24回目	バンドレコーディング実習①:ミックス～マスタリング(TEMAS MASTERING)					
【後期】 25～29回目	マイク、セッティングをいろいろ変えてProtoolsに録って聴き比べ～自分なりのデフォルトが作ることを目標にさまざまなマイクの音、セッティングを学ぶ Band RECのセッティング～回線チェック～マイクセット～サウンドチェック(レベルどり)を繰り返して身につける					
【後期】 30～34回目	バンドレコーディング実習②:Basic REC～Over Dubbing～Vo Dubbing & Mivdown Band RECのセッティング～回線チェック～マイクセット～サウンドチェック(レベルどり)を繰り返して身につける					
【後期】 35～38回目	バンドレコーディング実習③:Basic REC～Over Dubbing～Vo Dubbing & Mivdown 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	照明実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	照明実習	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ライブハウスでの照明スタッフを経て独立。ライブハウス業務の一環として企画制作やデザインなども行い、様々な角度から音楽業界に関わっている。					
授業概要						
照明のプランニングからオペレートまでを理論的かつ実践的に学ぶ。						
到達目標						
照明プランニングとホールでの仕込み、本番でのオペレートのノウハウの習得し、照明の原理原則を理解している。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	ホール機材についての説明。立ち上げ方法。 安全講習/電球について/譜割り トツフレネル/ケーブル容量など/仕込み実習					
【前期】 6～10回目	SF/調光卓とDMX/色番号 ACL/球替えParフレネル 仕込み実習/PIN					
【前期】 11～15回目	LED,シュートの説明(竿と脚立),人の見え方について 卓・MVの説明/PIN練習					
【前期】 16～19回目	ホールの機構の照明用語 DMXついて DMXを使った仕込み 前期試験					
【後期】 20～24回目	卓(dim shape)について					
【後期】 25～29回目	仕込み図の書き方 あかり作り 卓データ作成について					
【後期】 30～34回目	仕込み実習/卓					
【後期】 35～38回目	卓/PIN 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	映像製作実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	映像製作実習□	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	映像制作、編集、映像オペレーターやVJなど、映像のオールラウンダー。最近では舞台映像や簡単なマッピングも制作。自身がVJとして所属するバンドでは企画から編集までオールセルフプロデュースのMVも制作。					
授業概要						
ミュージックビデオ制作を中心に映像制作のプランニングから撮影、編集までの一連の流れについて学ぶ						
到達目標						
Adobe社のPremireやAfterEffectsといったソフトを用いた基礎的な編集技術およびミュージックビデオ制作のノウハウの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	年間計画説明/MV企画の立て方 模擬制作実習：講師主導で企画～ワンシーン撮影～編集/企画の立て方、打ち合わせ練習/企画構成、演出、資料作成/担当分担/企画制作/音盤表、スケジュール作成、カメラハ等/準備、撮影～編集					
【前期】 6～10回目	模擬制作実習：編集					
【前期】 11～15回目	MV制作実習：映像メディア研究/カメラ設定、企画についての座学/MV企画、声優芸能科・協力アーティストとの内容打ち合わせ・修正/各種資料作成、機材準備、各所アポイント					
【前期】 16～19回目	イベントライブ配信練習：ライブ配信のセッティング/撮影、スイッチ、カメラワークの練習 前期試験					
【後期】 20～24回目	CLUB CITTAライブ撮影練習：ライブ撮影の機材セッティング/スイッチ、カメラワーク等カメラ技術練習					
【後期】 25～29回目	MV制作実習：撮影、データ整理、素材準備/オフライン編集					
【後期】 30～34回目	MV制作実習：オンライン編集/MV修正					
【後期】 35～38回目	卒業制作：自分たちで全て企画制作して映像作品を作成し視聴会 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	デザインPC実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	デザインPC実習	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ロゴ・ポスター・CDジャケット・マーチャンダイズ等、様々な広告デザイナーとしての業務に従事。一方、フォトグラファーとしての活動も行い、二刀流のクリエイターとして活動中。					
授業概要						
コミュニケーションツールとしてのデザインを学ぶ授業。						
到達目標						
デザインの基礎知識・技術を学び、グッズ制作等の成果物に結び付けると共に、就職後を見据え、わからない技術を自分で調べる術を身につけることを目標とする。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	授業の進め方、評価基準、必要なソフトの説明 デザインの基礎(レイアウトとタイポグラフィ)					
【前期】 6～10回目	Photoshop基礎:画像加工と調整/合成とエフェクト Illustrator基礎:ベクターグラフィックの基本/ロゴ制作演習 レイアウト演習:フライヤー制作/デザイン実習:課題制作(バナー広告)					
【前期】 11～15回目	Illustrator応用:アイコンデザイン/ポスター制作 Photoshop応用:レタッチ技術/合成技術と特殊加工 実践課題:名刺・パンフレットデザイン/SNS広告デザイン/オリジナルWebサイトデザイン					
【前期】 16～19回目	デザインと著作権:商用利用のルール ブランディングとデザイン戦略:企業ロゴ・ブランドアイデンティティの考え方 パッケージデザイン演習:商品パッケージの設計 前期試験					
【後期】 20～24回目	企画、編集基礎:講師主導で撮影した映像の編集					
【後期】 25～29回目	企業案件シミュレーション:実際のクライアント案件を想定した制作					
【後期】 30～34回目	ポートフォリオ制作:コンセプト設計/レイアウトデザイン/フィードバックと修正 デザインプレゼンテーション:自由テーマの作品制作/自分の作品をプレゼンするスキル					
【後期】 35～38回目	作品制作/課題製作:作品ブラッシュアップ/自由テーマの作品制作 就職・フリーランスについてのキャリアアドバイス 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						